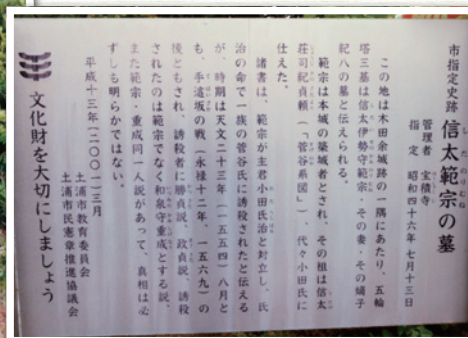
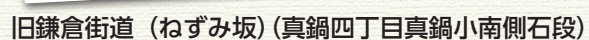
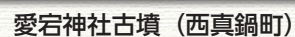
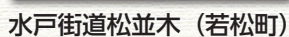
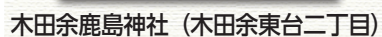


散策のコースに取り入れてみてはいかがでしょうか



(写真提供：鳥羽久良様、二中地区環境部)

やすらぎ

45号

平成29年9/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553

二地区

新

地区長紹介

今年度から新たに地区長に就任された4人の方々をご紹介します！



西真鍋町
関 博 信
趣味：家庭菜園

西真鍋町新地区長の関博信です。3か月が過ぎましたが、この間40回以上の内外公務が有りました。なかなか大変です。地区長会においては、会長はじめ先輩方の親切なご指導をいただいております。感謝。

町内では、鹿島神社祭礼も近くなります。青年会も真剣に準備を進めております。また、2年間中止になった市民体育祭に対する育成会の思い入れも強いものがあり、それを支える女性部の炊き出しにも絆を感じます。公民館には、昨年は念願であったエアコンを入れて頂き、今年は上水道を引き、入り口道路の拡幅を予定しております。

西真鍋町がより住みよい町になる様、微力ながら努めてまいります。



殿里町
島田 正文
趣味：家庭菜園、ゴルフ、韓ドラ（時代劇）鑑賞

殿里町は、真鍋ブロックの中では一番住民が少なく、田んぼ、畑の多い地域ですが、大変まとまりがよく住みよい町です。

近年の特徴としては、ごみ集積場が先輩たちの努力できれいになり、居酒屋風のつくりとなっており、そこに花も植えられ「土浦で一番すばらしい？」と思っています。

また、農業用水池として「殿里池」がありますが、池の周りの桜の木が大きくなり、お花見に訪れる人も年々増えています。この場所は、花火大会の見物席としても人気があり、最近では2か月位前からロープを張り、場所の確保をする人もいます。

これからも皆で協力し、きれいな住みよいまちづくりを目指し活動していきます。



若松町
湯原 慶二
趣味：卓球、海釣り

若松町は、昭和30年に市営住宅が20戸建設され板谷住宅としてひとつの町となりました。現在では63年を迎え650世帯、居住者は1350名を数える真鍋地区でも大きい地区となっております。最近新しい住宅も増え若い方が増えてきています。

町内会の中でも育成会、つばさ会（青年会）の方がいろいろな行事の進行役として行動して頂いているので、微力な新米地区長のサポート役として適切なアドバイスを受けております。

今後コミュニケーションを大切に誰でも参加できる町内会を目指して行きたいと思えます。



東都和
澤 邊 昇
趣味：卓球、囲碁、将棋

東都和団地は発足して既に25年になるでしょうか。当町内も高齢化、少子化ですが、各行事、夏祭り、冬祭り、防災訓練を実施するにあたり、世帯数が約200世帯と少数の団地で、まとまりが良いと思います。

町内会としてお互い協力し合い住みよい地域社会づくり、町内の皆様と融和を図り、一斉清掃活動、敬老事業、交通安全活動、子どもたちを犯罪から守る活動、環境美化活動・広報活動・防犯活動・防災活動・子どもたちの健全育成活動などを行い、地区長として、市との連絡調整、町内会の要望事項の取りまとめを行い、切磋琢磨で町内の皆様と頑張つてまいります。

真鍋一丁目
真鍋二丁目
真鍋三丁目
真鍋四丁目
真鍋五丁目
真鍋六丁目

本橋 泰雄
塙 武
皆藤 嘉宏
勝間田 貞美
羽生 佐洪
大川 勝己

東真鍋町
真鍋新町
木田余東台
木田余西台
木田余西台

下田 衛
和知 五月
飯山 孝之
南川 幸之進
名和 幸二

合同視察研修

『佐倉一里塚視察』に参加して

文化広報部 佐藤 敬

1月31日、参加者27名がバスに乗車して圏央道を佐倉へ向かいました。佐倉と言えば武家屋敷が思い浮かびますが、訪れたのは最後の佐倉藩主で、明治の廃藩置県により東京から佐倉の領地に戻って住んだ屋敷である「堀田邸」。

国の重要文化財に指定されているという母屋等に入ると、明治23年にできたという歴史と年輪の重みが木の色艶を通して伝わってきました。

重厚な造りの玄関の佇まいや広大な庭園の木々の中に入ると自然と穏やかな気持ちになってくるのは不思議です。



次に向かったのは「武家屋敷」。これは個人所有の屋敷ではなく藩から貸与されたものなのか。今ならさしずめ公務員住宅でしょうか。

3棟の復元された屋敷ですが、藩士の身分によって屋敷の大きさと間取り、更には門の造りにまで格差が見てとれたのは興味深いものがありました。



昼食は「町並み情報館」。

これも歴史ある商家を昔の風情を残して改築したもので、すし詰め状態になりながら満腹に。

ここまでの案内はすべてボランティアで無報酬で行っているとのことでした。頭が下がります。

以上は「佐倉一里塚」として、歴史的遺産を核に町づくりを推進している活動ですが、土浦市も参考にすべき点が多々あるように思いました。

午後のメインは「国立歴史民俗博物館」。

古代から現代まで日本人のルーツや近隣諸国との関係、日本文化の形成過程など広大なスペースに分かりやすく展示しており、後半は時間が無くなり駆け足に。

じっくり見学するには1日かかりそうです。機会があれば家族でゆっくり来てみたいと思いました。

この視察研修で感じたことは、町



づくりは行政のみでできることではなく、そこで生活を共にする住民が町に愛着を持ち、少しでもよくしたいという共通の目標をもって出来ることから活動するという極めて基本的なことでした。

佐倉では、それが実行されており、有意義な体験をした一日でした。



新着図書紹介

夜の谷を行く

桐野 夏生

ツバキ文具店

小川 糸

カブールの園

宮内 悠介

しんせかい

山下 澄人

やめるときも、すこやかなるときも

窪 美澄

カルテット1

坂元 裕二

カルテット2

坂元 裕二

騎士団長殺し 第1部 顕れるイデア編

騎士団長殺し 第2部 還ろうメタファー編

罪の声

村上 春樹

i アイ

塩田 武士

また桜の国で

西 加奈子

室町無頼

須賀しのぶ

キャピタル

垣根 涼介

全部レンチン！やせるおかず作りおき2

加藤 秀行

いちばん詳しくてわかりやすい！

柳澤 英子

アロマテラピーの教科書

和田 文緒



はじめてのジョギング



木綿（コットン）を見直そう！

前期公民館講座



自分らしいシニアライフのマネー講座



発酵食品の不思議な世界



アロマで作る「くすり箱」



エアプランツで作るオブジェ

公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせしてみてください。

公民館講座のご案内

※「老人ホームの選び方」講座は6月28日に実施されました。



山ガール・つくばグレートトラバース夏編

まちづくりの 実践をたたえる表彰

「土浦市まちづくり市民会議」では明るく住みよい豊かなまちづくりを推進するため、市民憲章を制定しており、多大な功績をあげている個人や団体を表彰しています。

今年度は、二中地区では次の方々が表彰されました。

個人の部

● 奈良 久さん

東都和
防犯活動（17年）

安全協会土浦支部真鍋分会の委員として、幟旗のぼりばたの設置や管理、学童の登下校時の立哨りっしょうなど東都和地区内の交通安全・防犯対策に努めました。

● 君山 罔治さん

東真鍋町

青少年育成（10年）

交通量の激しい二中坂下で、子ども達の安全確保、安心の実現の為に、毎朝立哨指導と見守り活動をしました。また、町内の役員として9年間活動し、他の模範となりました。

● 小野 文夫さん

木田余東台二丁目

環境美化・防犯活動（7年）

町内各種行事に率先して参加協力をし、また防犯・環境美化活動を通して町内をよくまとめ、地域住民との連帯意識向上のため献身的に行動しました。

● 磯部 潔和さん

木田余東台二丁目

奉仕（9年）

町内各種行事に率先して参加協力をし、またスポーツを通して若者をよく束ね、地域住民との連帯意識向上のため献身的に行動しました。

団体の部

● 東都和みずき会

奉仕（22年）

自治会が発足した頃より、地域の高齢者を対象として親睦や会員の健康増進を図り、また自治会行事に側面から協力しました。



秋のバスハイキングに参加して

二中地区公民館館長 浜田 衛

11月4日、市民委員会主催のバスハイクで「藤岡市桜山公園」へ行ってきました。ここは冬桜と紅葉が同時に楽しめる事で有名で、最盛期には7千本の冬桜が咲くとの事です。冬桜は開花期が年に2回あり、1回目は11月から12月、2回目は3月から4月に咲き、公園内のソメイヨシノと合わせると、春には1万本の桜が咲いて山全体が淡いピンク色に染まるそうです。

特産の三波石を使った日本庭園に集合。ラジオ体操をして隊列を組んで出発です。いきなり階段が登場、春の日光霧降高原の急階段を思い出します。30分程度で標高597mの頂上へ。冬桜は満開とはいえ、花は小さく疎らに咲いているので、春の桜のような華やかな雰囲気はありません。その可憐な風情を楽しむのでしょうか？頂上からは、御荷鉾みかばの山々や遠く秩父の武甲山などの山並みが見えます。山を下り、昼食会場の八塩館へ行くと、美味しい昼食と温泉が待っていました。

「諸君、冬の桜は春の桜のようではあらない」（村上春樹の小説「騎士団長殺し」の「騎士団長」の口調で）。



中區 二地

青年会紹介

①

● 今回より3回にわたり、二中地区の青年会を順次紹介していきます。(原稿はH29・7月現在)

真鍋二丁目真和会

会長 小林 武司



真鍋二丁目真和会は、現在23名の会員で活動しております。昭和51年9月に設立され、今年で42年目を迎えます。

主な活動内容としては、8月の鹿島神社例大祭・キララ祭りでの山車巡行、10月の市民体育祭への参加、年末年始の鹿島神社を明るくする会、毎月2回の町内防犯パトロールへの参加など、年間を通して会員相互の親睦と連携を深め、真鍋一丁目、更には真鍋地区全体の発展に寄与するための活動を行っています。

また、今年度は筑波山登山など、

レクリエーションも積極的に計画しております。

会員は随時募集しております。特に30代以下の方、入会をお待ちしています。地域の皆様、会員のご紹介をよろしくお願いいたします。

真鍋二丁目眞櫻会

会長 海野 優

真鍋二丁目眞櫻会では、20～50代のメンバー30人程で活動しています。4月の桜祭り、夏にはキララ祭りと鹿島神社例大祭(獅子舞・お囃子・巡行手伝い)参加や、10月に行われる二中地区市民体育祭への参加、二中地区歩く会やグラウンドゴルフ他、真鍋地区で行われるイベント



トへ参加しています。

また、12月31日大晦日には鹿島神社を明るくする会へ参加し、炊き出しや紅白餅の配布等を行っています。

以上の年間行事を通して、眞櫻会メンバー全員の力を合わせて真鍋地区を、土浦を盛りあげていきたいと考えています。ご協力下さる地域の皆様への感謝を忘れず、青年会活動を行って参りたいと思います。

真鍋三丁目青年会

会長 大西 智典

私たち真鍋三丁目青年会は53人で活動しております。

主な活動内容と致しましては、年に4回実施する廃品回収があります。育成会と連携をとり、子どもたちと共に参っております。地域の方々と触れ合える場でもあり、とても有意義なものだと感じております。

その他としましては、8月にはキララ祭りと鹿島神社例大祭への参加、10月には市民体育祭、12月には鹿島神社を明るくする会、4月には桜を楽しむ集い等、一年を通して様々な行事に参加しております。全行事の打合せや準備から後片付け

等、青年会員の協力の元、頑張っております。

これからも青年会全員で一丸となり活動して行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



真鍋四丁目青年会

会長 大塚 真一

真鍋四丁目青年会は、鹿島神社例大祭への参加が大きな活動となります。約2か月前からの準備から始まり、本祭余興時の各係員の配置、運営など真鍋他町内や本町内諸団体と協力し、安全第一で楽しいお祭りを行っております。毎年たくさんの子どもの笑顔が見られ、我々のエネルギーの源になっています。



祭の準備から片付けまでのお手伝い、冬は鹿島神社を明るくする会での参拝者への振る舞いなど、年間を通して地域活動を行っております。その他、月に一度の定例会や忘年会、新年会などを通して、青年会員同士の交流を深めております。

いろいろと大変な事はありませんが、青年会活動を通して会員同士はもちろん、近隣の方々や他町内の青年会員との交流が出来ること、地元の歴史や伝統に携われることに、やりがいや生きがいを感じております。

今後も地元の文化・伝統を守っていけるよう、微力ながら尽力していきたいと思っております。

また、年間を通して町内行事にも参加をしております。夜間防犯パトロールの実施、廃品回収のお手伝い、市民体育祭への参加、真鍋連合青年会主催で行われる大晦日の鹿島神社を明るくする会への参加等、様々な活動を行い、町内及び他町内の皆様と親睦を深めています。

今後も町内発展の為、新たな取り組みにも積極的に協力をしていきたいと思っております。

真鍋五丁目青年会

会長 石引 知倫

我々真鍋五丁目青年会では、春は真鍋の桜を楽しむ集いにおける小学校の駐車場警備、夏は鹿島神社例大



二中地区公民館

新職員紹介



公民館主事
浅野 倫子

このたびの定期異動により、4月からこちらの公民館に勤務することになりました。

初の公民館勤務で目まぐるしい日々を過ごしておりますが、公民館の皆さんにフォローしていただき、感謝しております。また利用者の方々からあたたかく話しかけていただいた時は、心が癒やされほっとします。公民館にお越しの際はお気軽に声をお掛けください。

地域の皆様のお力をお借りしながら、館長をはじめ公民館職員の皆さんと共に、親しみやすい公民館づくりを目指し、活気溢れる活動に少しでも役立てるよう努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



公民館指導員
浅野 茂

4月よりお世話になっております。これまで35年教職に努めてきました。そしてまた今回、チャレンジクラブをとおして子どもたちとふれあえることは、とても幸せです。

今年63歳になります。趣味は園芸と歴史探訪、それに陸上長距離を中心にスポーツ観賞です。特技と言えるものはありませんが、剣道と書道をやっていました。

座右の銘は「継続は力なり」です。何事にも努力は必要で、努力した人が報われる世の中になるといいと思っています。努力には苦しみもついてきますが、継続することので得られるのは、目標に達する・近づくだけでなく、周囲の人たちの思いにも迫れることだと信じています。

微力ながら二中地区の皆さんのために頑張っておりますので、気軽に声をかけてください。よろしくお願いたします。

高安関「大関」昇進おめでとう!!

宝積寺(木田余町)の「節分会」に来訪(1月29日)。豆まきをして頂きました。



「ひとり暮らし高齢者 会食会」の紹介

土浦市社会福祉協議会
真鍋支部 飯村 貴久

社会福祉協議会の真鍋支部では、年に3回二中地区公民館を会場にして、ひとり暮らし高齢者の会食会を開催しています。

この会食会は、二中地区に居住する70歳以上の比較のお元気な高齢の方を対象にしたものです。ボランティアサークル「ふたば会」や「二中地区そば打ち同好会」の皆様に、朝早くから昼食の準備をしていただき、心温まる手作りのお食事を提供いただいております。

午後はレクリエーションの時間です。こちらは、参加者皆で体操をしたり、ボランテアさんによる日本舞踊や楽器の演奏を観賞します。

ここ数年は、年に1回、まなべすみれ幼稚園の園児の皆さんに、お遊戯や楽器の演奏をしていただいております。かわいい役者さんの演技を、高齢者の皆さんは楽しみにされているようです。

この事業は、二中地区の民生委員児童委員の皆様に、参加者募集や会場の設営等、様々なご協力をいただいております。

地域福祉充実のため、関係者の皆様には引き続きご協力の程、よろしくお願いいたします。



公園が少ない?

編集部コラム

「そういえば、うちの町内には公園がないね。我が町の役員会で、子供が遊べる公園がないことが話題になった。近隣を見回しても少ないイメージがあるという。調べてみると、二中地区内には6つの公園があるが、確かに「うちの町内」からそれら公園までは気軽に行ける距離ではない。一部地域に偏在しているのもこのイメージの要因だろう。

では、二中地区は公園が少ないのか? 人口1万人当たりの公園数の全国平均は7.7。二中地区人口は約1万6千人なので、この人口に対しては12公園が平均である。したがって、6公園というのは全国平均の半分であり、確かに少ないようだ。逆に言うと、近所に公園が少ないと感じる住民が平均的に多い地域だとも言えるのかもしれない。

休日にフラッと家を出て、近所の公園にブラッと寄り、ベンチで日向ぼっこ。そんな空間が近所にあってもいいな、と今回の話題をきっかけに思った。

小欄では、「やすらぎ」編集部員がふと感じたことを綴ります。

